



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岸川 和久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 山本 修嗣

四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,065	2.5	△100	—	△63	—	△47	—
24年3月期第1四半期	3,967	2.8	△186	—	△167	—	△130	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △137百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△4.27	—
24年3月期第1四半期	△11.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第1四半期	17,878	—	13,708	—	76.7
24年3月期	18,692	—	13,912	—	74.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 13,708百万円 24年3月期 13,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,000	6.5	200	98.7	220	74.8	135	7.3	12.05
通期	21,700	5.3	550	33.9	600	30.0	370	86.8	33.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	11,200,000 株	24年3月期	11,200,000 株
25年3月期1Q	494 株	24年3月期	494 株
25年3月期1Q	11,199,506 株	24年3月期1Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、ERPソリューション業務の減少によりシステム構築業務が、計算受託業務終了の影響によりシステム運用管理業務がそれぞれ減収となった一方で、システム機器販売及びそれに関連するその他の情報サービス業務が増加したことから、売上高は4,065百万円と前年同四半期比97百万円（2.5%）の増収となりました。

一方、損益面につきましては、原価率の改善を主因として、営業損失は100百万円と前年同四半期比85百万円の増益、経常損失も63百万円と前年同四半期比103百万円の増益となり、その結果、四半期純損失につきましても47百万円と前年同四半期比82百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループを含む金融機関向けシステム構築業務は引き続き堅調に推移しましたが、システム機器販売が減少したことなどから、売上高は1,167百万円と前年同期比6百万円（0.5%）の減収となりました。

② 公共関連部門

自治体向けのシステム機器販売が好調だったことを主因として、売上高は1,004百万円と前年同四半期比121百万円（13.8%）の増収となりました。

③ 産業関連部門

一般法人向けのシステム機器販売が増加しましたが、ERPソリューション業務などの減少によりシステム構築業務が減少したことを主因として、売上高は1,892百万円と前年同四半期比17百万円（0.9%）の減収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比813百万円減少して17,878百万円に、純資産も前連結会計年度末比204百万円減少して13,708百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.3%増加して76.7%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に発表いたしました第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ0百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	3,520
受取手形及び売掛金	5,366	2,902
有価証券	3,300	3,300
商品	180	227
仕掛品	319	844
貯蔵品	40	25
その他	1,039	1,077
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	12,744	11,892
固定資産		
有形固定資産	3,336	3,475
無形固定資産	459	410
投資その他の資産		
投資有価証券	1,384	1,247
その他	776	860
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	2,152	2,100
固定資産合計	5,948	5,986
資産合計	18,692	17,878
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,872	1,145
未払法人税等	34	14
賞与引当金	673	276
受注損失引当金	—	1
資産除去債務	—	5
その他	1,060	1,457
流動負債合計	3,640	2,901
固定負債		
退職給付引当金	279	298
役員退職慰労引当金	93	71
資産除去債務	10	4
その他	755	894
固定負債合計	1,138	1,268
負債合計	4,779	4,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,536	9,421
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,820	13,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	3
その他の包括利益累計額合計	92	3
純資産合計	13,912	13,708
負債純資産合計	18,692	17,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,967	4,065
売上原価	3,265	3,268
売上総利益	702	796
販売費及び一般管理費	888	896
営業損失(△)	△186	△100
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	17	23
不動産賃貸料	18	15
雑収入	5	13
営業外収益合計	42	53
営業外費用		
支払利息	8	7
不動産賃貸費用	9	7
雑損失	5	1
営業外費用合計	23	16
経常損失(△)	△167	△63
特別損失		
固定資産除却損	33	—
特別損失合計	33	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△200	△63
法人税等	△69	△15
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△130	△47
四半期純損失(△)	△130	△47

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△130	△47
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△89
その他の包括利益合計	△29	△89
四半期包括利益	△160	△137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160	△137

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,173	882	1,910	3,967	—	3,967	—	3,967
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	19	168	191	—	191	△191	—
計	1,176	902	2,079	4,158	—	4,158	△191	3,967
セグメント利益又は損失(△)	191	54	111	356	—	356	△543	△186

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△543百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,167	1,004	1,892	4,065	—	4,065	—	4,065
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	1	115	118	—	118	△118	—
計	1,168	1,006	2,008	4,183	—	4,183	△118	4,065
セグメント利益又は損失(△)	218	82	113	415	—	415	△516	△100

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△516百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。